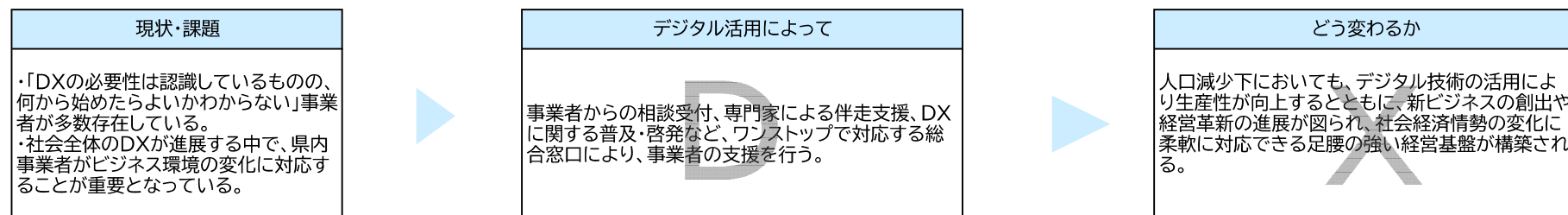


令和7年度DX関連事業ロードマップ

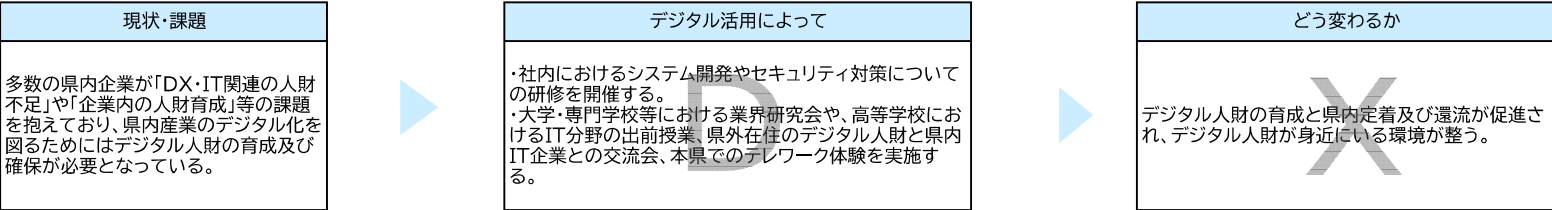
【No1】

分 野	産業・しごと分野	項目	商工業・サービス業	担当部局	総合政策部	担当課	DX推進課		
事 業 名	産業DX推進事業（総合的支援体制）			R7事業費(千円)	45,521	事業 始期	R5	事業 終期	R10
概 要	事業者からの相談受付や伴走支援、コンサルティングまでワンストップで対応する総合窓口を運営し、県内事業者の新ビジネス創出や生産性向上等に向けて支援するとともに、DXに関する普及啓発に取り組むことで、産業分野のDXを推進する。								



取組		R6	R7	R8	R9	R10
青森県DX総合窓口の運営	目標	相談対応 フォーラム きっかけづくりセミナー 経費助成	支援機関の取組に移行 きっかけづくりセミナー 経費助成	きっかけづくりセミナー 経費助成	きっかけづくりセミナー 経費助成	きっかけづくりセミナー 国の経費助成を活用
	実績	相談対応 フォーラム セミナー 経費助成				
DX戦略の策定に取り組んでいる企業の支援(DXコーディネーター伴走支援)	目標	伴走支援	伴走支援	伴走支援	伴走支援	伴走支援
	実績	伴走支援				
主な取組実績		・青森県DX総合窓口を運営し109件相談対応したほか、コーディネーターによる12社への伴走支援を実施。 ・モデル的取組に対して経費助成を行った。 →実施件数2件				

分野	産業・しごと分野	項目	商工業・サービス業	担当部局	総合政策部	担当課	DX推進課		
事業名	産業DX推進事業(人財育成・確保)			R7事業費(千円)	12,087	事業 始期	R5	事業 終期	R10
概要	県内産業のDXを推進するため、デジタル技術について、実践的な知識や技術の習得を支援する研修を開催してデジタル人財を育成する。また、学生への出前授業や業界研究会を開催することで、県内IT企業への関心を高めるとともに、首都圏デジタル人財との交流を通じて、人財の確保や協業の促進に取り組む。								

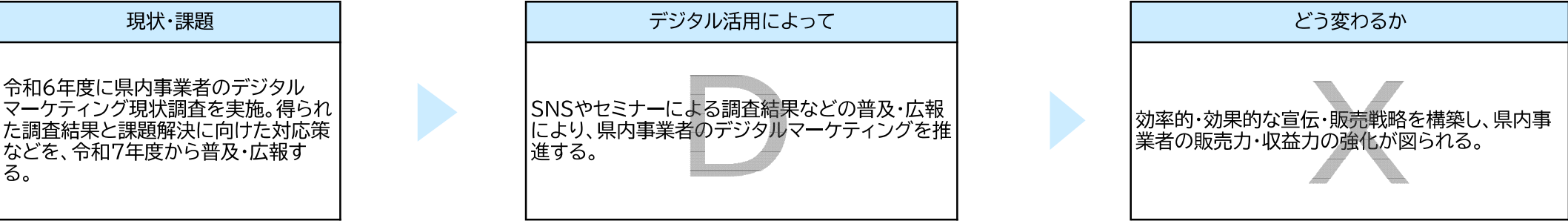


取組		R6	R7	R8	R9	R10
デジタル人財の育成	目標	デジタル技術体験研修 ビジネスデータ活用 実践ワークショップ セキュリティセミナー	デジタル技術体験研修 セキュリティセミナー	国の取組状況を踏まえ、より効果的な支援策を検討		
	実績	デジタル研修 ワークショップ セキュリティ				
デジタル人財の確保	目標	大学・専門学校等業界研究会 高等学校への出前授業 首都圏デジタル人財との交流	大学・専門学校等業界研究会 高等学校への出前授業 首都圏デジタル人財との交流	大学・専門学校等業界研究会 大学・専門学校等業界研究会 首都圏デジタル人財との交流	大学・専門学校等業界研究会 首都圏デジタル人財との交流	大学・専門学校等業界研究会 首都圏デジタル人財との交流
	実績	業界研究会 出前授業 デジタル人財交流				
主な取組実績		・令和7年2月にデジタル技術体験研修を実施。(全2回) ・令和7年2月にビジネスデータ活用実践ワークショップを実施。 ・令和6年11月、12月にセキュリティセミナーを実施。(全2回) ・県内の大学・専門学校5校において業界研究会を実施。 ・県内の高等学校5校への出前授業を実施。 ・令和6年8月～令和7年1月に首都圏デジタル人財との交流会を首都圏で2回、県内で4回実施。				

令和7年度DX関連事業ロードマップ

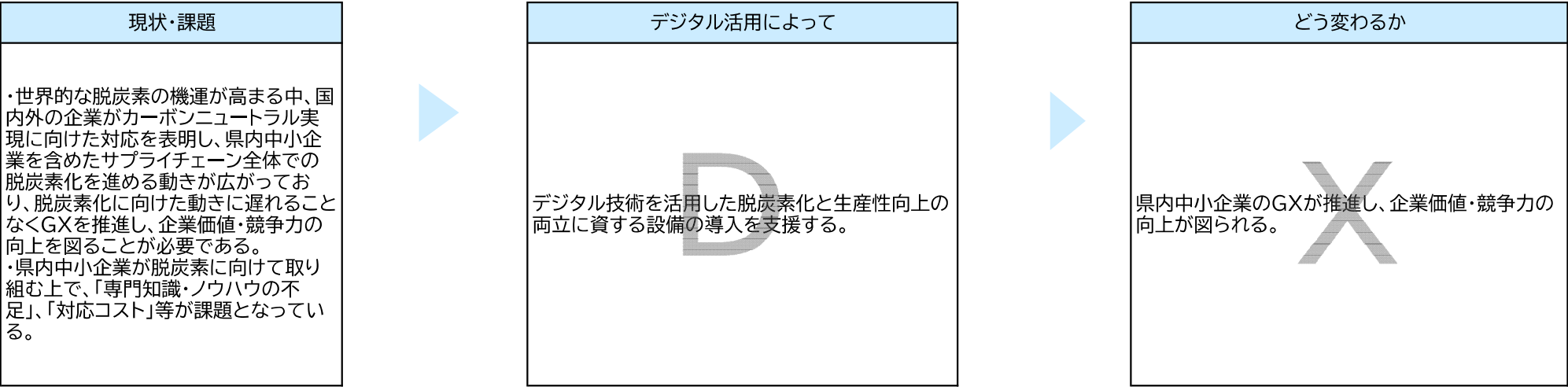
【No3】

分野	産業・しごと分野	項目	商工業・サービス業	担当部局	経済産業部	担当課等	地域企業支援課
事業名	商品突破力強化支援事業(あおり県産品外貨獲得支援)			R7事業費(千円)	6,624	事業始期	R6事業終期R8
概要	県内食品・クラフト事業者のデジタルマーケティング活用に向けた普及・広報を行うとともに、マーケットの変化・動きを踏まえながら、大規模展示会を活用した販路開拓を支援することにより、県内事業者の外貨獲得を支援する。						



取組		R6	R7	R8	R9	R10
デジタルマーケティング普及・広報	目標	現状調査 ECサイト個別指導	SNS・セミナーによる普及・広報			
	実績	現状調査 ECサイト個別指導				
主な取組実績		・令和6年度に現状調査を実施。 ・ECサイト販売力強化事業に県内事業者5者が参加。				

分野	産業・しごと分野	項目	商工業・サービス業	担当部局	経済産業部	担当課	地域企業支援課
事業名	中小企業等グリーントランスフォーメーション(GX)推進事業			R7事業費(千円)	155,616	事業 始期	R5事業 終期R10
概要	カーボンニュートラル実現に向けた対応を成長の機会として捉え、県内中小企業においても、脱炭素に向けた動きに遅れることなくGXを推進するため、GXに向けた意識啓発、経営戦略の策定支援、設備導入支援やグリーン成長戦略関連産業への参入支援を実施し、企業価値・競争力の向上を図る。						

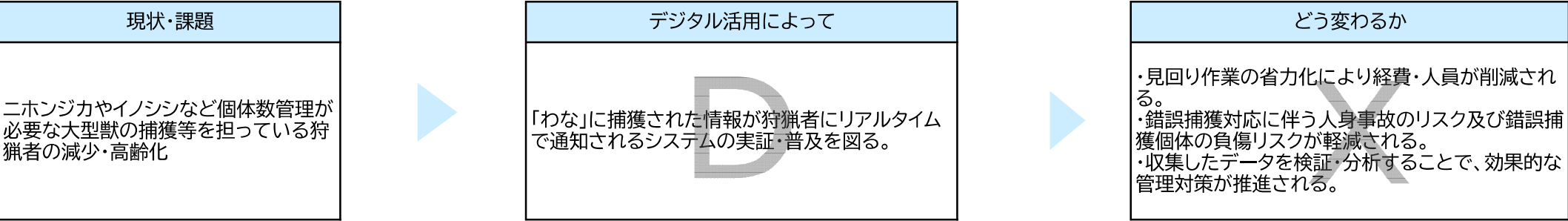


取 組		R6	R7	R8	R9	R10
脱炭素化・カーボンニュートラル関連設備導入経費への補助	目標	①設備導入経費への補助	①	①	①	①
		②セミナーでの取組事例の紹介	②	②	②	②
	実績	①設備導入経費への補助				
		②セミナーでの取組事例の紹介				
主な取組実績		・令和6年度脱炭素化に資する設備の導入経費を13者に対し補助。 ・令和6年7月に開催したセミナーで取組事例を紹介した。				

令和7年度DX関連事業ロードマップ

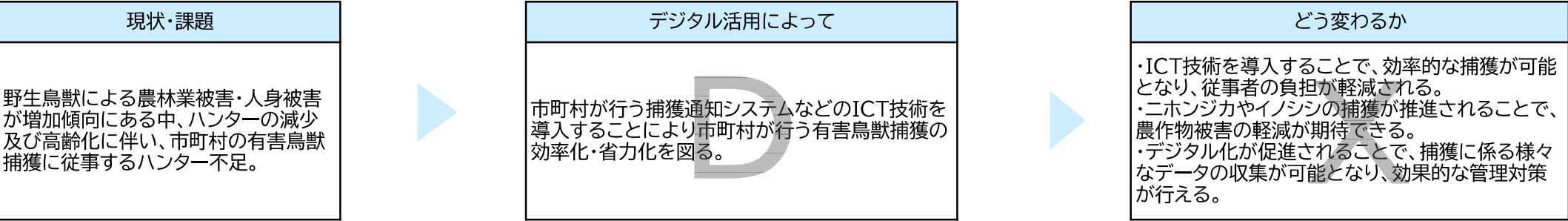
【No5】

分野	産業・しごと分野	項目	農林水産業	担当部局	環境エネルギー部	担当課等	自然保護課
事業名	大型野生獣マネジメント事業			R7事業費(千円)	40,700	事業始期	R7事業終期R10
概要	科学的かつ計画的な大型獣の管理対策を推進するため、ニホンジカ・イノシシの新たな捕獲技術を実証・普及するとともに、各大型獣の調査・捕獲の実施及び科学委員会を開催する。						



取組		R6	R7	R8	R9	R10
デジタル技術を活用した「くくりわな」の実証・普及	目標	①実証 ②報告会	①実証 ②報告会	技術運用(市町村等)		
	実績	①実証 ②報告会 大型野生獣管理対策推進事業として実施				
主な取組実績		・R6.11～R7.2にかけて15か所で実証事業を行い、R7.3月に報告会を実施。				

分野	産業・しごと分野	項目	農林水産業	担当部局	環境エネルギー部	担当課等	自然保護課
事業名	いのちとくらしを守るハンター確保・育成事業			R7事業費(千円)	31,000	事業始期	R7事業終期R10
概要	有害捕獲など市町村が行う捕獲通知システムなど効率的な捕獲や作業の省力化が期待できるICT技術の導入を支援する。						

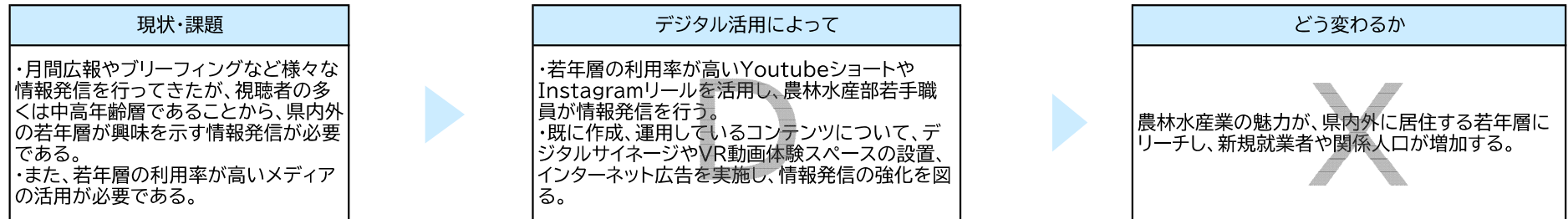


取組		R6	R7	R8	R9	R10
市町村に対するICT技術の導入支援	目標		①要望調査 ②定額交付		技術運用(市町村等)	
	実績					
主な取組実績						

令和7年度DX関連事業ロードマップ

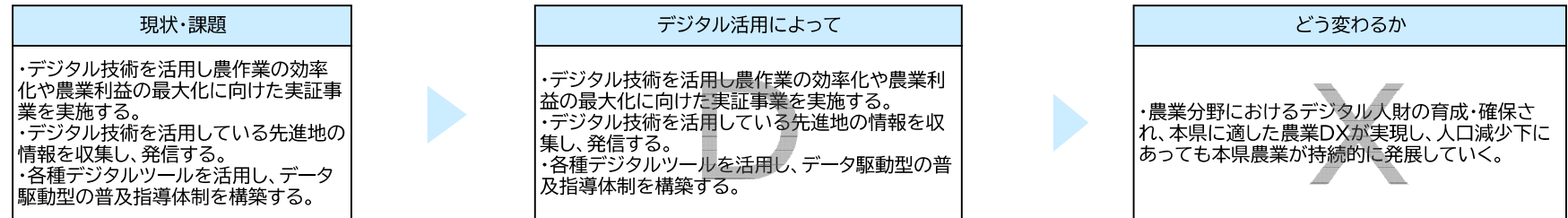
【No7】

分野	産業・しごと分野	項目	農林水産業	担当部局	農林水産部	担当課	農林水産政策課
事業名	「あおも」情報発信強化事業			R7事業費(千円)	3,000	事業 始期	R7 事業 終期 R9
概要	県内外に居住する若年層(中高生～20代前半)をターゲットに青森県の農林水産業の魅力などを効果的に情報発信する。						



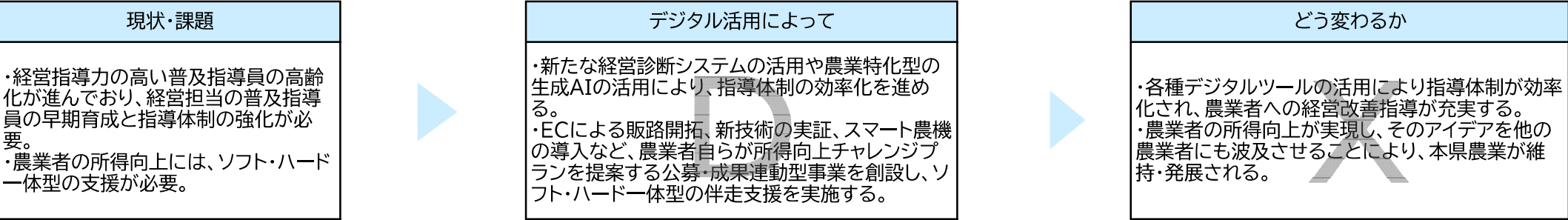
取 組		R6	R7	R8	R9	R10
SNS等を活用した新たな情報発信	目標		Youtubeショート及びInstagramリールを活用した情報発信 企画＞撮影＞発信＞分析 企画＞撮影＞発信＞分析 企画＞撮影＞発信＞分析			
	実績					
「農林水産業×人気ゲームキャラクター」人気ゲーム会社と連携した情報発信	目標		先進地調査を実施 協定締結会社を選定	連携協定を締結	人気ゲームキャラクターを活用した情報発信	
	実績					
既存コンテンツをフル活用した情報発信の強化	目標		デジタルサイネージを活用した農林水産業の魅力の発信 各種イベント等を活用したVR動画体験スペースの設置 「農なび青森」のインターネット広告の実施			
	実績					
主な取組実績						

分野	産業・しごと分野	項目	農林水産業	担当部局	農林水産部	担当課	農林水産政策課
事業名	あおもり「農業DX」推進事業			R7事業費(千円)	12,757	事業 始期	R6 事業 終期 R8
概要	本県に適した農業DXを実現するため、生産者や研究機関、民間企業等で構成するコンソーシアムによるデジタル技術の実証を進めるとともに、農業デジタル人財の確保・育成及びデータ駆動型の普及指導体制の構築に取り組む。						



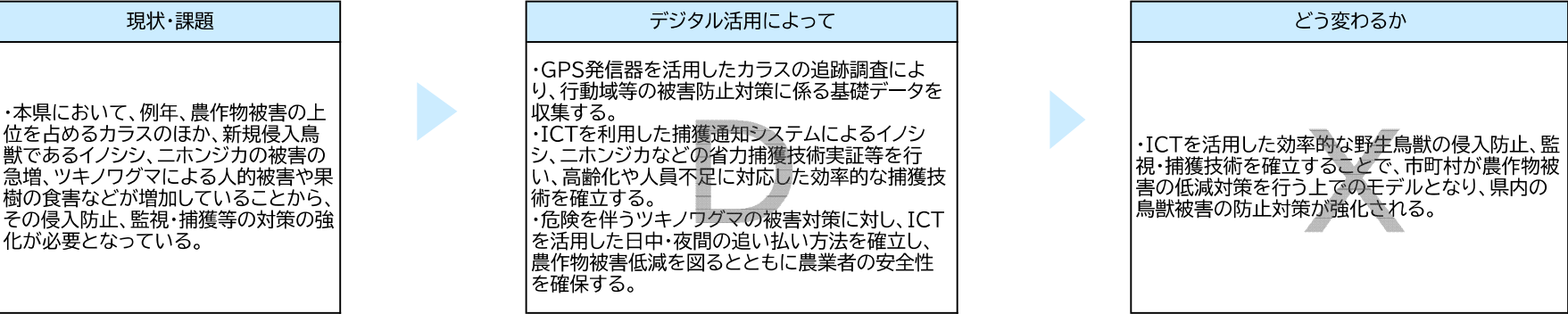
取組		R6	R7	R8	R9	R10
あおもり「農業DX」の実証	目標	①コンソーシアム公募 ②現地実証 ③実証結果の検討	③	③	より効果的な施策を実施	
	実績	① ② ③				
農業デジタル人財の確保・育成	目標	①先進国視察 ②人材育成研修 ③セミナー	① ②人材育成研修・セミナー	① ②	より効果的な施策を実施	
	実績	① ② ③				
データ駆動型の普及指導体制の構築	目標	①動画の作成・活用 ②個別農業者への指導記録のデータベース化及び新たな普及指導体制の検討・構築 ③データ駆動型の現地指導手法の実証			より効果的な施策を実施	
	実績	① ② ③				
主な取組実績		・R6年6月～、コンソーシアムによる現地実証を実施→実施件数4件 ・R6年11月、指導者向け人材育成研修を実施→実施件数2件 ・R7年2月、YouTubeチャンネルで動画を公開→公開動画5件				

分野	産業・しごと分野	項目	農林水産業	担当部局	農林水産部	担当課等	農林水産政策課
事業名	所得向上プログラム実践支援事業			R7事業費(千円)	168,445	事業始期	R7事業終期R10
概要	農業者の所得向上を実現するため、経営分析等の指導体制を強化するとともに、農業者自らが計画を提案する公募・成果連動型の支援事業を創設し、所得向上の取組を支援する。						



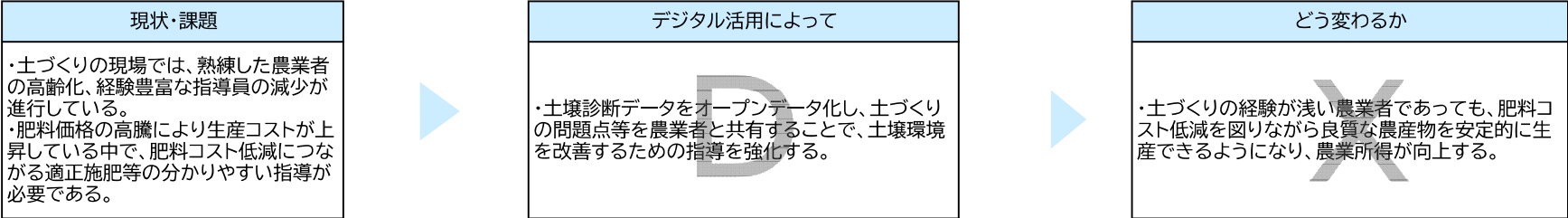
取組		R6	R7	R8	R9	R10
ICTを活用した効率的な指導体制の構築	目標		経営診断システムによる経営分析・経営改善指導			
	実績		データの収集	生成AIの試行	生成AIの活用による指導体制の確立	
所得向上プログラムの取組支援	目標		チャレンジプランの公募	補助金事務	チャレンジプランの公募	補助金事務
	実績				チャレンジプランの成果検証	補助金事務(後年度加算)
主な取組実績					優良事例の取りまとめ・公表	優良事例の取りまとめ・公表

分野	産業・しごと分野	項目	農林水産業	担当部局	農林水産部	担当課	農林水産政策課
事業名	鳥獣被害防止対策実施体制強化事業			R7事業費(千円)	35,315	事業始期	R6事業終期R7
概要	野生鳥獣による農作物被害を効果的・効率的に防止するため、ICT等を活用した捕獲技術等の実証・普及などに取り組み、鳥獣被害防止対策体制を強化する。						



取組		R6	R7	R8	R9	R10
ICTを活用した効率的な野生鳥獣の侵入防止、監視・捕獲技術実証	目標	①カラス行動域調査 ②ニホンザル捕獲・侵入防止技術実証 ③果樹園におけるツキノワグマ監視・撃退・捕獲等技術実証 ④イノシシ・ニホンジカ等省力捕獲技術実証 ⑤現地研修等		カラス被害防止対策の基礎データとして活用 実証した技術の普及 ※市町村等へ実証結果を情報共有		
	実績	①カラス調査 ③グマ実証 ⑤研修内容検討				
主な取組実績		①R6年7～12月調査実施 ③R6年10～11月現地実証 ⑤R6年12月に各獣種の対策に係る研修会を開催したほか、R7年2月に①、③関係の結果報告会を開催(1回・30人) ※②④のR6技術実証は取りやめ				

分野	産業・しごと分野	項目	農林水産業	担当部局	農林水産部	担当課等	農産園芸課
事業名	環境負荷低減による持続可能な農業実践拡大事業			R7事業費(千円)	6,732	事業 始期	R6事業 終期R8
概要	土壌診断に基づく土づくりと環境にやさしい農業の取組拡大により、消費需要に応えられる安全・安心で良質な農産物の安定供給と農業所得の維持・向上を図る。						



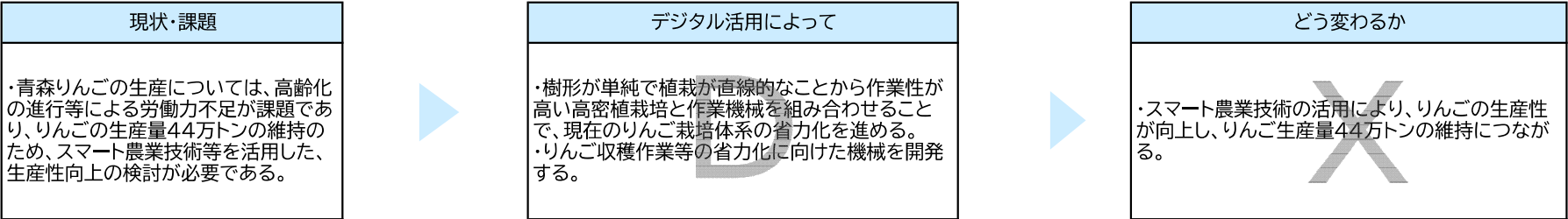
取組		R6	R7	R8	R9	R10
土壌診断のデジタル化と分かりやすい指導	目標	①土壌化学性分析DBのオープンデータ化 ②施肥設計支援システムの機能拡充に係るアンケート調査 ③土壌の総合診断結果と収量・品質データの収集	運用※新規データの効率的な取込方法の検討 ②施肥設計支援システムの機能拡充実装 ③土壌の総合診断結果と収量・品質データの収集	サービスの実装 ③モデル事例の公開		
	実績	①オープンデータ化 ②アンケートの実施 ③土壌総合診断データ収集				
主な取組実績		①R7年3月に青森県土壌診断情報データベース解析システムを構築。 ②R6年7月に肥料設計支援システムの利用状況等に係るアンケート調査を実施。 ③土壌三要素総合診断結果とにんにく、ながいもの収量・品質データの収集→9ほ場。				

分野	産業・しごと分野	項目	農林水産業	担当部局	農林水産部	担当課等	農産園芸課
事業名	衛星ナビ高品質米安定生産事業			R7事業費(千円)	16,903	事業 始期	R6 事業 終期 R8
概要	あおもり米のブランド価値向上を図るため、人工衛星画像とデジタル技術を駆使した生産支援ナビの開発と当該ナビを用いた高精度な生産指導、食味コンクールによる生産者の気運醸成を通じて高品質・良食味米の安定生産を確実なものとする。						

現状・課題	デジタル活用によって	どう変わるか
・県産米全体の底上げを図るため、より精度の高い生育診断技術や収穫適期情報が必要である。 ・デジタルデータを活用できる指導者等の育成と、生産者の良食味米生産の気運醸成が必要である。	・衛星ナビを活用した水田1枚ごとの精度の高い生育診断や収穫適期の判断に活用できる指導ツールの実用化を図る。 ・上記指導ツールを含む、デジタルデータを活用できる指導者を育成する。	・「青天の霹靂」の生産においては、品質(玄米タンパク質含有率)と収量の安定確保により生産者の経営が安定する。 ・その他の品種についても、指導ツールの活用と生産者の意識向上により、良食味・高品質米の安定生産がなされ、「あおもり米」全体の評価が向上する。

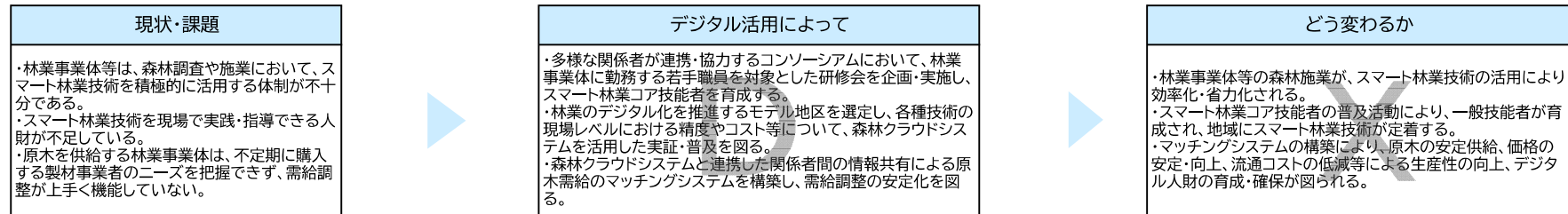
取 組		R6	R7	R8	R9	R10
水田1枚ごとの適正な生育診断を行う指導ツールの実用化及び収穫適期マップの他品種への展開	目標	指導ツール、収穫マップの開発				
		開発ツールの試験運用と改良				
		一部落格運用の開始				
	実績	指導ツール、収穫マップの開発				
試験運用と改良						
「衛星ナビ」を活用した高精度な生産指導	目標	地域生産指導PTによるデジタル指導ツールを活用した生産指導の実施				
		デジタル指導ツールを活用した指導者養成研修の実施				
	実績	生産指導の実施				
		指導者研修の実施				
良食味・高品質生産に向けた指導力の向上と生産者の意識啓発	目標	食味評価スキル向上研修の実施				
		良食味コンクールの開催				
	実績	研修の実施				
		コンクールの開催				
主な取組実績		・「青天ナビ」の追肥・生育診断機能、「はれナビ」「まっしナビ」の収穫マップを作成。 ・指導者等を対象に各ナビを試験運用し、アンケート調査や生育調査結果を基に機能を改良。 ・5地域で生産指導を実施→通年で延べ2,000人以上。 ・指導者研修(3回)及び食味評価研修の実施。(1回・22名) ・R6年12月、食味コンクールの実施と表彰式の開催→応募総数167点。				

分野	産業・しごと分野	項目	農林水産業	担当部局	農林水産部	担当課等	りんご果樹課		
事業名	青森りんご先端技術導入事業			R7事業費(千円)	34,373	事業 始期	R6	事業 終期	R8
概要	りんご生産量の堅持と産地の持続的発展に向けて、高密度栽培専用苗木の生産体制強化や新規就農者の定着支援、スマート農業技術等の実証、新品種の早期開発に取り組む。								



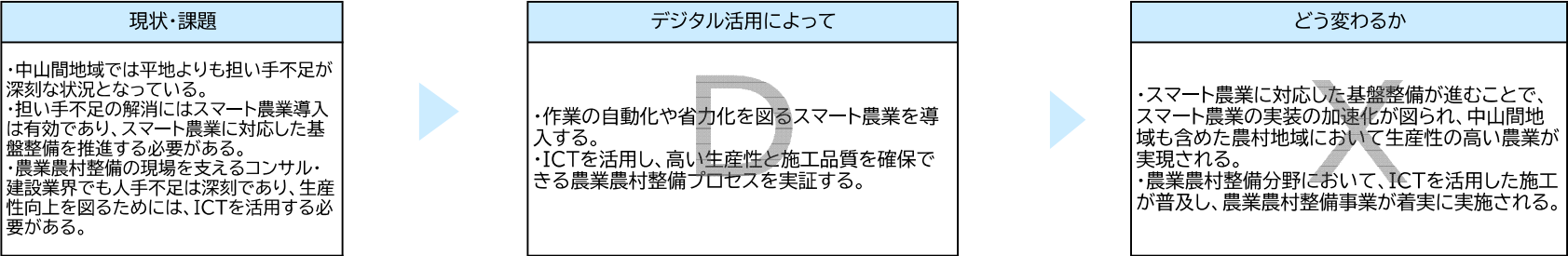
取組		R6	R7	R8	R9	R10
スマート農業技術等の検証	目標	①省力機械の開発 ②高密度わい化栽培とスマート農業技術等の先進モデル園設置	① ②先進モデル園を活用した高密度技術や機械作業の展示	① ② ③開発中の省力機械の実証試験	効果の実証、作業の機械化や高密度技術の促進	
	実績	①省力機械の開発委託により試作機を作成 ②スマート農機試験（自動運搬台車）、モデル園設置に向けた圃場整備				
主な取組実績		・りんごの収穫作業体系の省力化に向けた機械開発業務を機械メーカーへ委託し、試作機を開発。 ・スマート農業機械等の実証試験→トラクター装着型静電式ブームスプレーヤ：2回、自動運搬台車：2回。				

分 野	産業・しごと分野	項目	農林水産業	担当部局	農林水産部	担当課等	林政課			
事 業 名	林業・木材産業デジタルシフト推進事業			R7事業費(千円)		6,160	事業 始期	R6	事業 終期	R7
概 要	林業分野のイノベーションに地域の関係者が一丸となって取り組むため、県内3地域に設置したコンソーシアム(協同事業体)を核とし、指導的立場となる人財の育成や現場レベルでの実証、森林クラウドシステムを活用した原木需給マッチングシステムの構築により、林業のデジタルシフトを推進し、技術の普及・定着を図る。									



取組		R6	R7	R8	R9	R10
スマート林業技術活用の人財の育成	目標	①コンソーシアム打合せ等 ②技術活用研修会	① ②			
	実績	① ②				
モデル地区の選定及び各種技術の普及・定着	目標	①各種技術の実証 ②需給マッチング実証委託・検討会開催	①			
	実績	① ②				
主な取組実績		・森林クラウドシステム操作研修会3回開催→参加者49人。 ・ICTハーベスタ研修会の開催→1回・参加者25人。 ・津軽地域の広葉樹林においてドローン・地上レーザ等の実証試験。 ・青森県原木需給マッチングシステム実証業務委託の実施。 ※需給マッチングシステム構築検討委員会は、R6非開催				

分野	産業・しごと分野	項目	農林水産業	担当部局	農林水産部	担当課等	農村整備課
事業名	農業農村整備DX推進事業			R7事業費(千円)	12,339	事業 始期	R6事業 終期R8
概要	農業農村整備におけるDXを推進するため、中山間地域へのスマート農業導入を促進する基盤整備手法の確立と、農業農村整備プロセスにおいてICT活用 の実践や有効性の検証を行い、その効果を広く普及させる。						

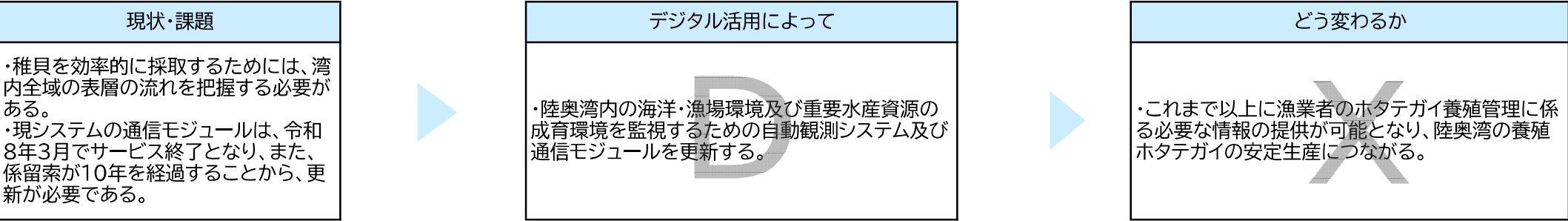


取組		R6	R7	R8	R9	R10
中山間地域の農業DXを加速化する基盤整備	目標	①検討会の実施 実証試験 聞き取り調査 先進地研修	① 基盤整備手法の確立 パンフレット作成			
	実績	①検討会の実施 実証試験 聞き取り調査 先進地研修				
農業農村整備プロセスのDX	目標	①検討会の実施 ②実証試験 ③研修会	① ② ③	① ② ③		
	実績	①検討会の実施 ②実証試験 ③研修会				
主な取組実績		1.中山間地域の農業DXを加速化する基盤整備 ・検討会(2回)及び実証試験の実施。 ・先進地研修(2箇所) 2.農業農村整備プロセスのDX ・検討会(2回)及び実証試験の実施。 ・研修会の実施(2回)				

令和7年度DX関連事業ロードマップ

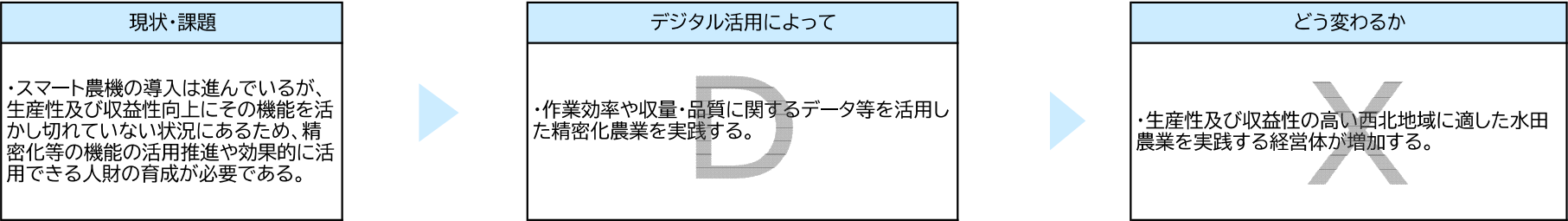
【No16】

分野	産業・しごと分野	項目	農林水産業	担当部局	農林水産部	担当課	水産振興課
事業名	陸奥湾海況自動観測システム更新整備事業			R7事業費(千円)	499,597	事業始期	R5事業終期R10
概要	陸奥湾海況自動観測システムを更新するとともに、小型ブイ2基を追加することにより、ブイ設置点及び陸奥湾の広範囲の流れ等を観測する体制を構築し、陸奥湾の環境保全対策やホタテガイ養殖に係る必要な情報等を漁業者等へ提供する。						



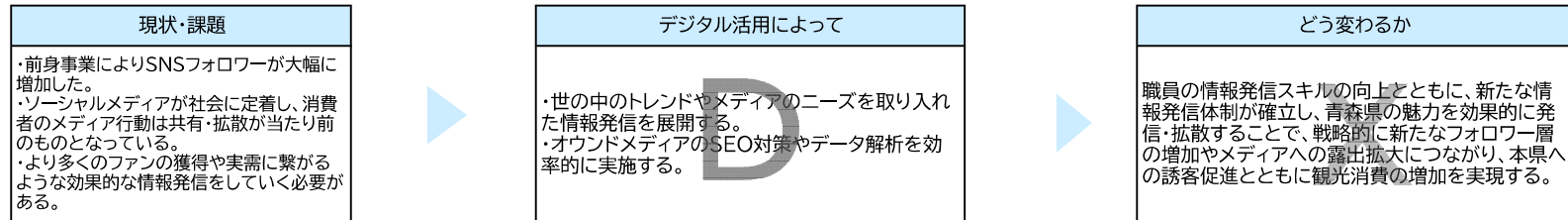
取組		R6	R7	R8	R9	R10
機器更新整備 詳細な情報配信	目標	実施設計	機器の工事、設置	詳細な情報発信		
	実績	実施設計				
主な取組実績		R6年10月に実施設計終了。				

分野	産業・しごと分野	項目	農林水産業	担当部局	農林水産部	担当課	西北農林水産事務所
事業名	稼げる水田農業定着加速化事業			R7事業費(千円)	1,758	事業 始期	R6事業 終期R8
概要	生産性及び収益性の高い「西北型水田農業」の実現を加速するため、スマート農業技術の導入効果の最大化を図る取組を推進する。						



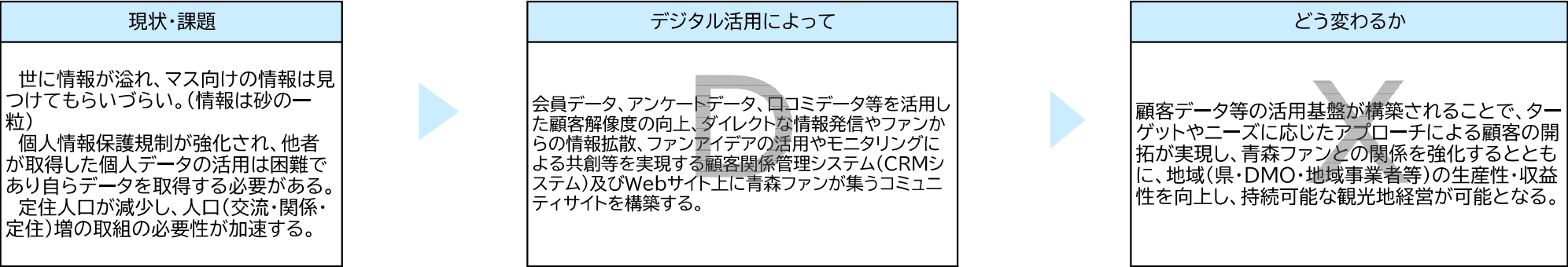
取組		R6	R7	R8	R9	R10
スマート農業のさらなるメリットの追求	目標	技術実証ほの設置 現地検討会	技術実証ほの設置 現地検討会	技術実証ほの設置 現地検討会	最新技術の情報収集・提供	
	実績	技術実証ほの設置 現地検討会				
スマート農業のメリットを活かせる人財の育成	目標	オペ養成研修 ICTスキル研修 スマート農業研修会 情報提供	オペ養成研修 ICTスキル研修 スマート農業研修会 情報提供	オペ養成研修 ICTスキル研修 スマート農業研修会 情報提供	導入マニュアルのフル活用・更新	
	実績	オペ養成研修 ICTスキル研修 スマート農業研修会 情報提供				
主な取組実績		・R6年5月～データ駆動型農業技術実証ほを3か所設置→衛星画像を使った営農支援システムで得られる生育量などの情報を栽培管理に利用 ・自動操舵トラクターのオペレーター研修会の開催。→R6年6月・8月延べ3回実施				

分野	産業・しごと分野	項目	観光業	担当部局	観光交流推進部	担当課	観光政策課
事業名	まるごと青森Web・SNS情報発信強化事業			R7事業費(千円)	15,789	事業 始期	R6 事業 終期 R9
概要	Web・SNSを中心とした情報発信を展開し、生活者の本県来訪意向の向上を図る。						



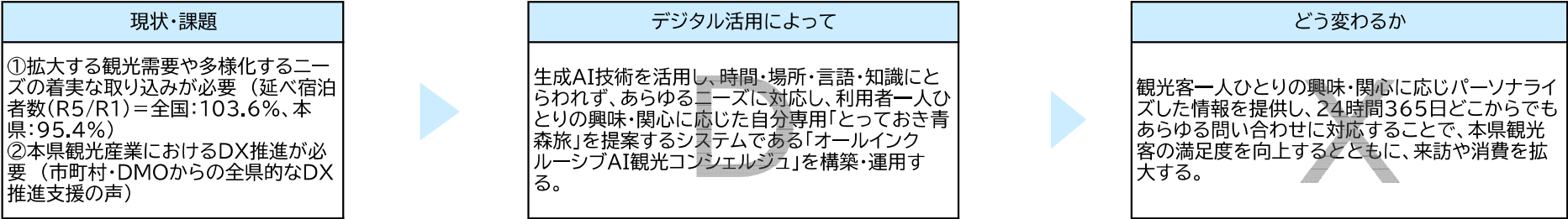
取組		R6	R7	R8	R9	R10
取組1 SNSコンサルティング	目標		SNS定例会 8回 (年間)	SNS定例会 8回 (年間)	SNS定例会 8回 (年間)	
	実績					
取組2 SNS発信用コンテンツ企画制作	目標	SNS投稿回数850回 (年間)	SNS投稿回数850回 (年間)	SNS投稿回数850回 (年間)	SNS投稿回数850回 (年間)	
		体験記事 4本 企画制作 4本	体験記事 4本 企画制作 4本	体験記事 4本 企画制作 4本	体験記事 4本 企画制作 4本	
	実績	SNS投稿回数850回以上				
		体験記事4本以上 企画制作4本				
取組3 Webコンテンツ拡充	目標		オウンドメディア統合			
	実績			コンテンツ拡充		
主な取組実績		・まるごと青森の全SNSアカウントフォロワー数は、令和5年度末の約8.7万人から令和6年度末時点で約10万人に増加した。				

分野	産業・しごと分野	項目	観光業	担当部局	観光交流推進部	担当課	観光政策課
事業名	DXによる青森ファン関係強化推進事業			R7事業費(千円)	39,174	事業 始期	R5事業 終期R10
概要	持続可能な観光地経営実現のため、青森ファンとの関係強化及び地域(県・DMO・地域事業者等)の生産性・収益性の向上に向け、県内DMO等と連携し、CRM※システム(顧客データベース)及び青森ファンコミュニティ(Webサイト)で構成する「青森ファンプラットフォーム」の構築・運用を行う。 ※Customer Relationship Management(顧客関係管理)						



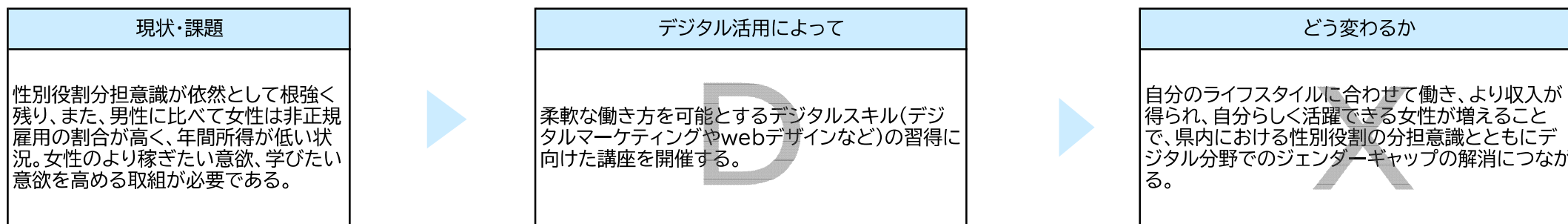
取組		R6	R7	R8	R9	R10
青森ファンプラットフォームのシステム構築・運用	目標	システム構築 ➡ 運用				
	実績	システム構築 ➡ 運用				
青森ファンプラットフォームの推進体制構築	目標	DMO・地域事業者等との連携				
	実績	DMO・地域事業者等との連携 ➡				
主な取組実績		・青森ファンコミュニティ「青森びいき」会員数:8,800人 ・青森ファンコミュニティ「青森びいき」投稿数:46,000件 ・青森ファンプラットフォームを活用したデジタルマーケティング:3件				

分野	産業・しごと分野	項目	観光業	担当部局	観光交流推進部	担当課	観光政策課		
事業名	オールインクルーシブAI観光コンシェルジュ事業			R7事業費(千円)	13,357千円	事業始期	R7	事業終期	R9
概要	生成AI技術を活用し、時間・場所・言語・知識にとらわれず、あらゆるニーズに対応し利用者一人ひとりの興味・関心に応じた自分専用「とっておき青森旅」を提案するシステムである「オールインクルーシブAI観光コンシェルジュ」を構築・運用するもの。								



取組		R6	R7	R8	R9	R10
調査・研究等	目標		調査・研究 → プロトタイプ構築・実証 → 基本設計			
	実績					
AI観光コンシェルジュ構築	目標			実施設計 → 正式版構築		
	実績					
AI観光コンシェルジュ運用	目標				正式版運用	
	実績					
主な取組実績						

分野	産業・しごと分野	項目	働き方	担当部局	こども家庭部	担当課	県民活躍推進課		
事業名	地方で稼げる女性支援事業			R7事業費(千円)	9,164	事業始期	R6	事業終期	R7
概要	女性も男性も自分らしく活躍することができる青森県の実現を目指し、女性の経済的自立促進に向けた意識醸成を行うとともに、テレワークが普及している状況下で、地方で稼げるスキルの習得や、デジタル分野でのジェンダーギャップ解消のため、デジタルスキルの習得促進に取り組む。								

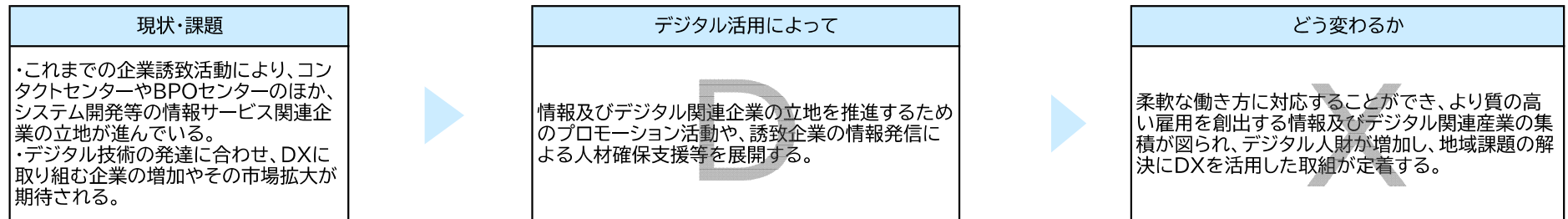


取組		R6	R7	R8	R9	R10
デジタルスキル講座開催・実践支援	目標					
	実績					
主な取組実績		・R6年7月にマインド醸成セミナーを開催→96名参加。 ・R6年9月からR7年1月までデジタルスキル講座を開催→受講者数15名。 ・R7年1月から3月まで、デジタルスキル講座修了者11名のうち希望者6名を対象にインターンシップを実施。				

令和7年度DX関連事業ロードマップ

【No22】

分野	産業・しごと分野	項目	働き方	担当部局	経済産業部	担当課	企業立地・創出課		
事業名	成長産業対応型誘致促進事業			R7事業費(千円)	10,652	事業 始期	R6	事業 終期	R8
概要	あらゆる産業のデジタル化が進むとともに、脱炭素社会に向けた市場拡大や設備投資が見込まれる中、成長分野を誘致するため、立地プロモーション等による誘致活動を展開する。								



取 組		R6	R7	R8	R9	R10
立地プロモーション活動	計画	①説明会開催、大規模展示会への参加 ②情報発信	大規模展示会への参加	大規模展示会への参加		
	実績	①出展準備、展示会へ出展 ②情報発信準備、立地環境PR説明会実施				
企業視察受入	計画	①現地視察 ②試行的オフィス利用				
	実績	①現地視察 ②試行的オフィス利用				
若者を対象とした成長産業誘致企業情報発信	目標		情報発信取材活動 情報発信	情報発信取材活動 情報発信		
	実績					
主な取組実績		・R6年12月に立地環境PR説明会を実施。 ・R6年12月に展示会へ出展。 ・R6年6月～青森県立地環境視察事業を実施。 →実施件数9件 ・R6年11月～立地企業紹介冊子を作成・配布。 →作成部数4,000部				